

アイヌ施策推進地域計画事後目標評価報告書

実施主体名	計画の名称	目標年度
伊達市	伊達市アイヌ施策推進地域計画	令和5年度

1. 目標の達成状況

アイヌ施策推進地域計画における目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B/A	備考
アイヌ文様刺繍講座参加者数	40人/年間	30人/年間	75.0%	
視察（札幌市）参加者数	80人/年間	34人/年間	42.5%	
だて歴史文化ミュージアム入館者数	23,000人/年間	5,838人/年間	25.4%	
生活館利用者数	6,000人/年間	5,173人/年間	86.2%	

アイヌ施策推進地域計画における目標	達成状況	備考
アイヌ文様刺繍講座参加者数	当初予定どおりに講座を開催したが、他種イベント等との競合などの理由により、目標値の達成には至らなかった。	
視察（札幌市）参加者数	当初予定どおりにイベントを開催したが、他種イベント等との競合などの理由により、目標値の達成には至らなかった。	
だて歴史文化ミュージアム入館者数	当初予定どおりに企画展等を開催したが、他種イベント等との競合などの理由により、目標値の達成には至らなかった。	
生活館利用者数	木彫や着物複製など市民向け講習会を実施したほか、近隣施設の利用者にも活用され、地域コミュニティ活動の活性化が図られたが、目標値の達成には至らなかった。	

【評価・コメント】

新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、各種事業を予定どおりに実施し、一定の成果を挙げたが、いずれも目標値を下回る結果となった。

2. 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

(1) アイヌ文化の保存又は継承に資する事業

事業の進捗状況	事業実施主体
(実施事業なし)	
事業の効果	

(2) アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業

事業の進捗状況	事業実施主体
【事業名】文化振興事業（アイヌ伝統技術の市民への普及事業） 令和3年度～令和5年度にアイヌ文様を施した日用品の製作講座を開催した。	伊達市
事業の効果	
タペストリー等の日用品にアイヌ文様を刺繍する講座を通じ、一つ一つの文様の意味などアイヌ文化や伝統技術に関する知見を広げる機会となった。	

事業の進捗状況	事業実施主体
【事業名】文化振興事業（市内の児童生徒や高齢者をはじめとする市民と行く道内アイヌ施設等の視察事業） 令和5年度に札幌及び北海道におけるアイヌの歴史を展示・解説する施設見学を実施した。	伊達市
事業の効果	
札幌市アイヌ文化交流センターや北海道博物館における資料閲覧・動画視聴、移動中のバス内における学芸員の解説・ワークシートにより、市民のアイヌ文化や伝統技術に係る知見を広げる機会となった。	

(3) 観光の振興その他の産業の振興に資する事業

事業の進捗状況	事業実施主体
【事業名】地域・産業振興事業（アイヌ文化の魅力発信事業） 市内のアイヌ文化に関連する企画展示及び常設展におけるアイヌ文化展示充実のため展示什器の購入・活用を行った。（令和2年度～令和5年度）	伊達市
事業の効果	
常設・企画展を通じて来館者に対し当市におけるアイヌ文化理解の機会を創出した他、企画展の立案や運営を通して近隣自治体や各関係機関担当者とのより密接な関係構築の機会を得られたことにより、今後のアイヌ文化関連展示の充実が期待できる	

(4) 地域内若しくは地域間の交流又は国際交流の促進に資する事業

事業の進捗状況	事業実施主体
【事業名】コミュニティ活動支援事業（有珠生活館建替事業） 令和3年度に実施設計、令和4年度に新築工事を実施、令和5年1月より伊達アイヌ協会の新たな活動拠点として供用を開始した。	伊達市
事業の効果	
老朽化していた有珠生活館の建替えを行うことにより、伊達アイヌ協会の活動拠点として安全・快適に活用することが可能となった他、伊達アイヌ協会収蔵品を展示することで、市民が気軽にアイヌ文化に触れられる機会を創出した。 なお、令和5年度以降は近隣施設と連携することにより施設利用の増加が見込まれることから、地域のコミュニティ活動の発展に繋がることを期待される。	

【評価・コメント】 講座や視察、展示などを通して、アイヌ文化に触れる機会の創出や理解促進の面において一定の成果を上げることができた。また、この成果を基に、より充実した展示
--

や地域コミュニティ活動の発展に繋がることが期待される。

### 3. 今後の方針等

今後も伊達アイヌ協会との意見交換を基本に、新設した有珠生活館とだて歴史文化ミュージアムにおいてより充実したアイヌ文化の普及・啓発を目的とした事業を継続的に推進する。